

平成 25 年度上下流交流事業

水源の森応援隊

【日 時】 平成 25 年 9 月 28 日（土） 10：30～14：40

【場 所】 王滝村九蔵 水源の森

【内 容】 以下のとおり

水源地保全のための森林整備の重要性を下流域へ啓発しながら上下流双方の住民交流を図ることを目的として、森林整備協定を締結している愛知中部水道企業団の管内住民を対象とした森林整備事業「水源の森応援隊」を実施しました。

今回は下流域より 135 名（愛知中部水道企業団職員 32 名、一般参加者 69 名、工事店組合 35 名、森林ボランティアリーダー 4 名）、上流域より 23 名（木曽地方事務所林務課 2 名、瀬戸副連合長（王滝村長）、王滝村 3 名（保健師含む）、森林整備推進実行委員 11 名、広域連合 6 名）、合計 158 名が参加しました。

好天に恵まれる中、午前中は 5 班に分かれ、昨年実施した箇所の残り部分を中心に下刈り、つる切り、枝打ちの作業を行いました。かつて平成 15 年にヒノキを植樹して以来 10 年が経過しましたが、雑木の枝や蔓が複雑に絡まる状態となっており、苗の成長を妨げていました。参加者はそれぞれ鎌や鋸を使い、時には協力して絡まった蔓を引き抜いたりしながら 40 分ほど作業を行いました。作業終了後集合場所へ戻る途中で振り返り、整備された森を満足そうに眺めている方もいらっしゃいました。

午後は松原スポーツ公園へ移動し昼食を取った後、木工体験と棒パン焼きを体験していただきました。木工体験は、丸太をチェーンソーで切ってみたり、斧で割ってみたり、ひのきの箸をつくってみたりと、それぞれでやってみたいものを選んで体験していただきました。棒パン焼きは、木の枝にパン生地をねじり付け、15 分程かけてじっくりと炭火で焼いていきます。なお、会場内では、王滝村内の民間団体にご協力いただき、取れたての野菜やキノコなど地元の特産品を販売していただきました。いずれのコーナーにおいてもけが人もなく、無事終了することができました。

上下流双方の参加者が共に汗を流しながら交流を深める貴重な機会であり、下流域の皆さんには満足してお帰りいただくことができました。

後日愛知中部水道企業団が一般参加者を対象に行ったアンケートによると、ほぼ全員の方から「参加してよかった」「今後も参加したい」「水源地保全を目的とした上下流交流は必要」との回答をいただいたということです。



開会式典



作業開始直後



枝打ち作業



下刈り作業



作業後の森



午後の体験会場 物販コーナー



チェーンソーを使った丸太切り



斧で薪割り



ひのきの箸づくり



棒パン焼き